

経営比較分析表（令和5年度決算）

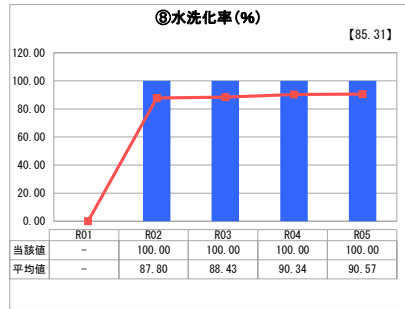
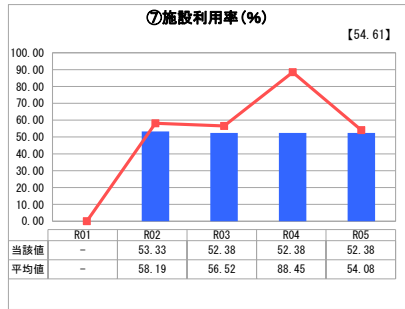
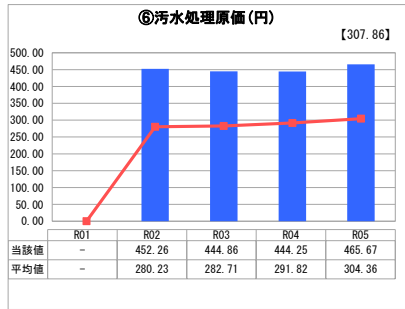
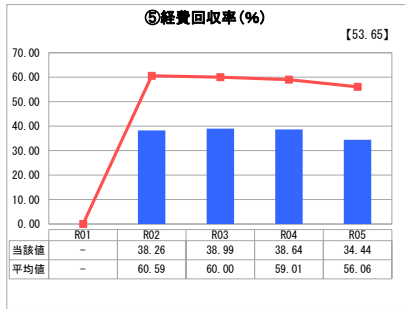
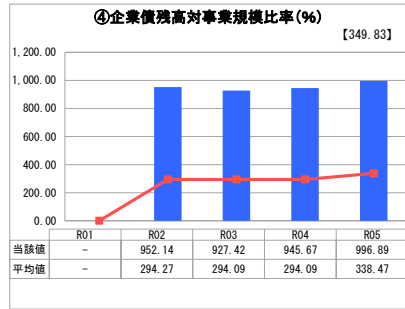
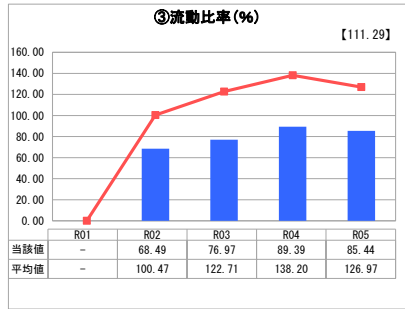
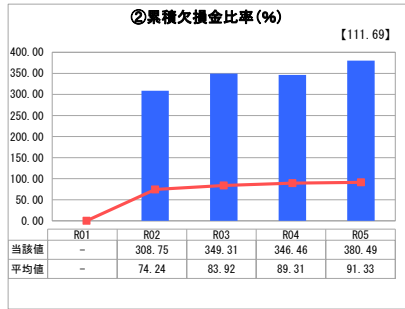
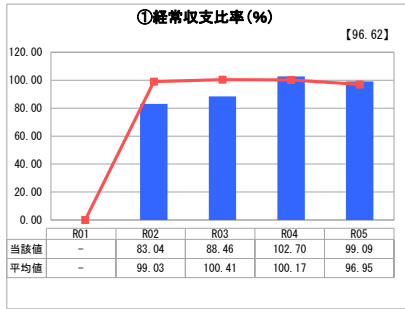
佐賀県 唐津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	14.26	4.95	100.00	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
115,475	487.60	236.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,692	172.18	33.06

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

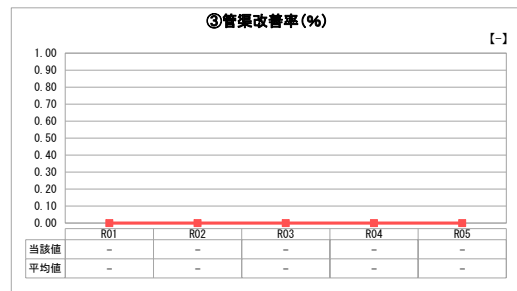
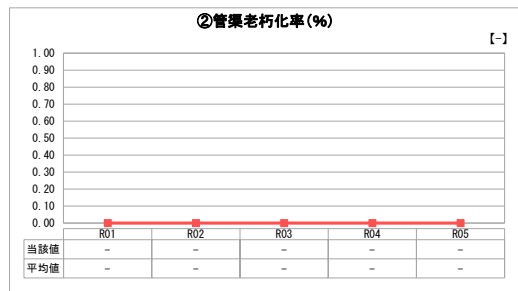
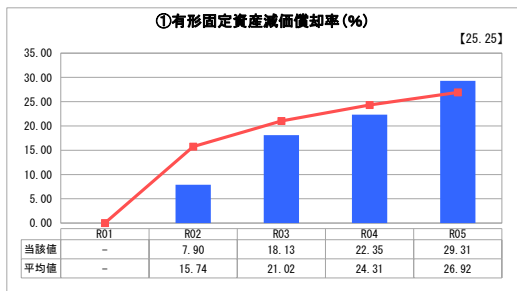
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率について、単年度収支が赤字であり100%以下となっている。それにより②累積欠損比率が悪化した。主な要因としては維持管理費の増加が考えられる。
 ③流動比率について、相対的に低い水準であり、短期的な支払い能力が万全な状態とは言えない状況である。
 ④企業債残高対事業規模比率について、企業債残高は減少しているが、料金収入の減少割合が大きく、数値が増加している。
 ⑤経費回収率および⑥汚水処理原価について、有収水量の減少及び下水道使用料の減免による料金収入の減少、あわせて汚水処理費の増加により令和4年度と比べて数値が悪化し、維持管理費を使用料で賄っていない状況が続いている。
 ⑦施設利用率について、数値は例年と同程度であるが、昨年と比べ類似団体の平均と近い値となっている。
 ⑧水洗化率については、100%となっている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率について、減価償却累計額の増加により数値が増加した。

2. 老朽化の状況



全体総括

○経営の健全性・効率性の部分において、現在汚水処理原価を使用料で賄っていない状況にあり、経費回収率が低い水準で推移している。今後は人口減少に伴い料金収入も減少する見込みとなるため、業務見直しによる費用削減や、料金改定の検討を行い、経営状況の改善を目指していく。
 ○老朽化の状況として、有形固定資産減価償却率の増加とともに、既設浄化槽の更新に向けての準備が必要となるので、計画的な資金の確保が求められる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。